

STE (Shiroi Teaching Expert) の授業紹介 No. 6



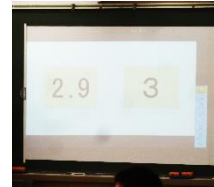
白井市立南山小学校 竹内 恭子 先生 (算数科)

11月11日(木)、3年生の算数科の授業でした。「小数の大きさはどうしたらくらべることができるだろうか。」という学習課題で、2.9と3の大きさを比べる方法を、既習事項を生かしながら考えていきました。

小学校3年生の元気いっぱいの子供たち。活発な明るい授業でした。

工夫1 学習に向かうための工夫 (3年生の発達段階を考えて)

筆箱は机にしまい、必要な筆記用具と教科書、ノートだけのすっきりした机上。3年生が学習に向かいやすい環境を整えていました。姿勢良く座り、しっかりと話を聞いていました。その中で始まったスクリーンを使った数の大きさ比べ問題。次々に表示される二つの整数の大きい方を発表していきます。全員が勢いよく手を挙げ、まるでクイズ大会のような盛り上がりでした。そして最後に示されたのが「2.9と3」。一瞬「えっ。」という感覚で自然に本時の課題に入っていました。



工夫2 伝える力を育てる工夫

大きさを比べるには今まで学習してきた数直線、位取り表が使えるのではないかという意見が出て、自力解決の時間になりました。

その後はグループでの伝え合いの活動です。「私は、数直線で考えました。2.9は〜〜です。」「僕は、0.1が何個かで考えました。〜〜です。」

自分が使った方法から始まり、語尾までしっかりと自分の考えを伝えていました。この力は一朝一夕では育ちません。今までの積み重ねがあってからこそこの姿です。

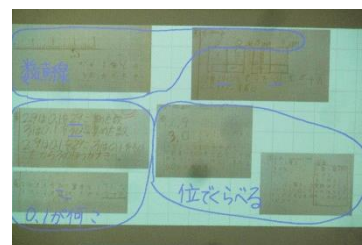


工夫3 考えの分類 & まとめの前の一工夫

子供たちの考えを分類し、自分はどの考えで説明したのか手を挙げて、参加意識を高めていました。ノートに◎マークで自分以外の考えも書き加えていました。

「次の問題はどの考えで解く？」最も効率の良さそうな考えを取り入れて、練習問題に取り組んでいました。

そして、まとめに入る前に本時の学習課題をもう一度皆で読み、「小数の大きさを比べるためにはどうすればよかったかな。」と児童が考えやすいように導いていました。



★竹内先生が大切にしていること★

- ・子供たちと一緒に、自分も楽しむこと。前にいる教師が楽しそうだと、子供たちも楽しんで学校に通えると思う。
(その言葉どおり、子供たちが考えることを楽しんでいました！)